

1/1 ニューイヤーズマラソン2023 in WARA - 1年の健康と幸福を祈念 元旦走り初め -

元旦に和良町を駆け抜ける「ニューイヤーズマラソン2023 in WARA」が開催され、市内外から参加した96人が走り初めを楽しみました。5キロと2.5キロの2コースが設定され、完走した参加者は「気持ちよく走ることができた。健康な1年にしたい。」と話していました。



◀ マラソンに参加するランナーのみなさん

1/10 長寿者褒賞 - 100歳おめでとうございます! -

栞田ひさ子さんが100歳を迎えられました。市からの花束をお渡しすると「いい香りですね」と大変喜んでくださいました。戦後30年ほど、近所で産婆さんをされていたとのこと。家の周りの草取りが日課で、斜面でも上手く鎌を使って作業されているそうです。いつまでもお元気で。



◀ 栞田さん（大和町栗葉）
大正12年1月11日生まれ

1/13 第16回全国どぶろく研究大会in北秋田 - どぶろくコンテストで快挙 -

市内でどぶろくを生産する4事業者が、秋田県北秋田市で開催された本大会の「どぶろくコンテスト」に参加し、全事業者が入賞する快挙を成し遂げました。

淡麗の部

- 優秀賞：「taake」とまりぎ山ノひやくせい
- 入賞：「大和歌魅（白）」三河屋
「奥の奥」母袋工房



◀ 郡上からの大会参加者とどぶろく出品製造者

濃芳醇の部

- 入賞：「水沢上ヶ池 濃芳醇」
リゾートペンション四季彩
「奥の奥 紅」母袋工房

1/13 長滝の延年華の献納 - 新型コロナからの復興を願って -

六日祭の関係者のみなさんが、日置市長を訪ね「長滝の延年華」を献納しました。延年華は新型コロナウイルス感染症からの社会経済の復興、市政の発展を願って地元のみなさんが製作した縁起物です。今年は「長滝の延年」を3年ぶりに開催。関係者からは、来年は「花奪い」を実施したいと願う言葉が聞かれました。



◀ 延年華の献納に訪れたみなさん

1/26 郡上本染 鯉のぼり製作体験 - 鮮やかに鯉を描く -

八幡小学校4年生のみなさんが、ふるさと学習として、岐阜県重要無形文化財に指定されている「郡上本染」の鯉のぼりの色付け作業を体験しました。児童たちは、大豆の絞り汁に顔料を混ぜて着色する技法「カチン染め」に挑戦。鯉のぼりの完成を楽しみに、赤、黒や黄色で丁寧に色付けしました。



◀ 色付け作業を体験する児童たち

1 / 26 冊子「光秀も越えた油坂峠」を寄贈
-油坂峠の歴史をまとめる-

白鳥町と福井県大野市を結ぶ旧道「越前美濃街道油坂峠」の再整備等に取り組む「越美油坂会」のみなさんが、峠の歴史をまとめた冊子「光秀も越えた油坂峠」を市に寄贈されました。戦国時代、明智光秀が越前に逃れるため越えたといわれる油坂峠。冊子は、奈良、平安時代から現代まで続く峠の歴史が紹介されています。



◀ 冊子を寄贈する
越美油坂会のみなさん

1 / 27 全国大会出場者激励会
-全国の舞台での活躍を誓う-

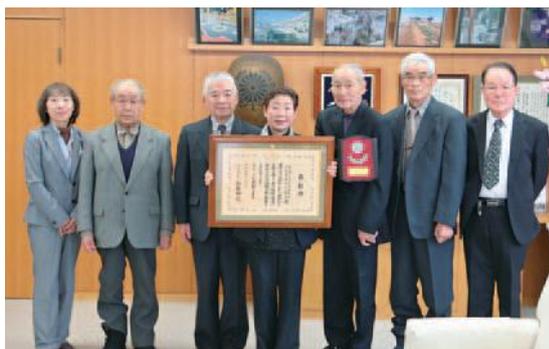
第60回全国中学校スキー大会（2/7～10）に出場する高鷲中学校2年生の川端咲千絵選手と郡南中学校2年生の古田尚之選手の激励会が開催されました。選手たちは、支えてくれたみなさんへの感謝の気持ちとそれぞれの目標や抱負を述べ、全国大会での健闘を誓いました。



◀ 古田選手（右）
川端選手（左）

1 / 27 優良単位クラブ表彰受彰
-地域と一体化した高齢者の取組み-

市シニアクラブ連合会大和支部阿千葉会が、優良単位クラブ表彰（厚生労働大臣表彰）を受彰されました。高齢者の孤立防止や交流の場としての「あちば喫茶」の実施、自治会と連携した防災・奉仕活動や地域の歴史を後世に伝えるべく立ち上げた「残し伝えたい上剣の歴史調査委員会」による活動が認められ、このたびの受彰となりました。



◀ 受彰を報告する
阿千葉会のみなさん

1 / 29 第12回ひるがの高原スノーウオーク
-白銀の高原の魅力を満喫-

高鷲町ひるがので「ひるがの高原スノーウオーク」が開催され、家族連れなど約80人が参加しました。初心者でも楽しめる「湿原植物園コース（4km）」と、森を歩く「ツアーコース（8km）」が設定され、参加者のみなさんはスノーシューを使って、粉雪が舞う白銀の世界を楽しみました。



◀ 雪山を楽しむ参加者の
みなさん

1 / 30 郷土文化誌「郡上Ⅱ」第六冊を寄贈
-郡上の歴史 昔と今を綴る-

地元有志のみなさんが、郡上の歴史文化と今を伝える郷土文化誌「郡上Ⅱ」第六冊を市に寄贈されました。1971～1999年に刊行された「郡上」の後継として2017年に創刊、郡上のゆかりの人物や歴史を掘り下げて紹介。今回は「コロナからの再生」をテーマに、3年ぶりに開催された郡上のおどりやその歴史が特集として掲載されています。



◀ 編集代表
古池五十鈴さん
（中央）
高垣昌幸さん（左）